

毎日 19.12. 7(金)

三河山間の過疎集落

県が実態調査へ

県は6日、県東北部の

三河山間地域にある過疎集落の実態調査を始めることを明らかにした。県議会で渡会克明氏(公明)

た。県地域政策課によると、調査は今月から開始。三河山間地域の6市町村と連携し、集落の分佈や人口、年齢構成などを調

べる。高齢者が特に多い集落は現地調査も行う。

県は来年度から現行の新城設楽事務所を、山村振興の窓口機能も兼ねた「山村振興事務所」に改編し、高齢者が多い過疎集落対策に力を入れる方針。今回の調査を基に、集落が抱える問題点や住民のニーズを把握し、具体的な対策を講じる。

【秋山信二】